

新しい経済をつくる ローカルベンチャー

ベンチャー企業とは、リスクを恐れず新たなビジネスに挑戦する若い企業、起業家のことで、本格的な人口減少、高齢化を迎えた地方では、地域創生の担い手としてローカルベンチャーが注目されています。東北地方のローカルベンチャーの状況や特徴を知り、ローカルベンチャーが作り出す新しい地域の未来について考えましょう。

青木 孝弘 教授

●出張講義分野

社会起業、アントレプレナーシップ

●研究分野のキーワード

地域イノベーション、ローカルベンチャー、社会的インパクト

●専門分野

社会起業、アントレプレナーシップ

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://researchmap.jp/aokitaka>



大学ではこんなことを研究しています

特定の地域に拠点を置き、その地域の優位性を活かして経営を行う地域企業と、地域の課題をビジネスの手法で解決する社会起業に着目して、これらの企業がいかに地域を活性化できるのかを研究しています。年間15社ペースで地域企業を訪問して、実践的な知識を蓄積し、その体系化に取り組んでいます。

先生からメッセージ

東京や仙台などの大都市では、自分がいかに頑張ったとしても、それが地域の発展や振興につながっている、という実感を得ることはなかなか難しいです。一方、本格的な人口減少と少子高齢化が到来した地方では、若者が少なく大変だけれども、自分の活躍が地域の振興に直接つながっているというやりがいを、仕事や地域との関わりを通して感じることができます。みなさんも公益大で、やりがいのある仕事や人生の土台を築いてみませんか。

略歴 東北公益文科大学大学院公益学研究科博士課程後期課程修了。博士（公益学）。
国内外の社会的企業やまちづくりNPO等で勤務後、会津大学短期大学部、宮城大学を経て、2024年4月より現職。